

水泳学習が始まりました

6月12日(月)から、水泳学習が始まりました。委託業者(コナミスポーツ)による水泳授業です。学習場所は、両荘中学校のプールで行っています。移動は、バスを使います。着替えを持ってバスに乗り、両荘中学校の指定された場所に着替えます。授業は、インストラクターと教師が連携して行います。15人で1グループになり、指導者がつきます。グループは、泳力で分けられています。上荘小学校の同学年の子どもたちと一緒に授業を受けています。中学校のプールで学習を行うため、小学生の授業では、水底(適切な位置)に台を沈めて深さ調整を行っています。



救命救急講習を行いました

6月13日(火)の放課後に、教職員を対象に、救命救急講習を行いました。加古川中央消防署と両荘分署の消防隊の方を講師に迎え、心臓マッサージやAEDを使っの救命救急を研修しました。救急隊が現場に到着するまでの間がとても重要になります。救急車が現場に到着するのに約7分かかるそうです。また、AEDをつけることで、心電図を測定し、電気ショックが必要か否かの指示もしてくれます。

備えることの大切さを実感しました。



租税教室を行いました（6年生）

6月15日（木）に、6年生が、加古川税務署の方から税金について教えていただきました。

6年生は、「みなさんは、どんな税金を知っていますか？」そして、「みなさんは、納税は必要だと思いますか？それとも、必要ではないと思いますか？」と、税務署の方に質問されました。

6年生は、最初に税金について学び、次に税金についてのDVD『マリンとヤマトの不思議な日曜日』（税金がある時と、ない時とで、人々のくらしがどう違うのかをアニメで説明）を視聴しました。そして、私たちのくらしに税金がどのように使われているかを教えていただきました。



Q1 消費税は何%ですか？

⇒10%と8%があります。

Q2 どんな税金を知っていますか？

⇒消費税、所得税、住民税、法人税、固定資産税、自動車税、事業税、酒税、たばこ税・・・

Q3 日本に、税は、何種類あるでしょうか？

⇒50種類

※江戸時代には、1500種類の税があったそうです。



Q4 税金がある時とない時で、どんな違いがありましたか？

⇒火事で消防署の人が火を消してくれていました。消防士や消防車の費用は、税金が使われています。

税金がなかったら、消火活動や救助活動に関する費用を自分で払うことになります。

⇒税金を納めていることで、ごみを収集してもらっています。

税金がなかったら、町中にごみが散らかっている状態になっていると思います。

安全で豊かな生活をするために税が使われています。



Q5 学校を1校建てるのに、どれぐらいの費用がかかるとお思いますか？

⇒15億円です。

※市民の税金を集めて、学校の建設にも使われています。

※税金は、校舎以外に、先生、教科書、教室の机・椅子、水道、電気等にも使われています。

Q6 小学生一人当たり、一年間にどれぐらいの税金が使われているとお思いますか？

⇒92万円です。

Q7 小学1年生から高校3年生までの12年間にどれだけの教育費を使うでしょうか？

⇒11,889,000円です。（教育費）